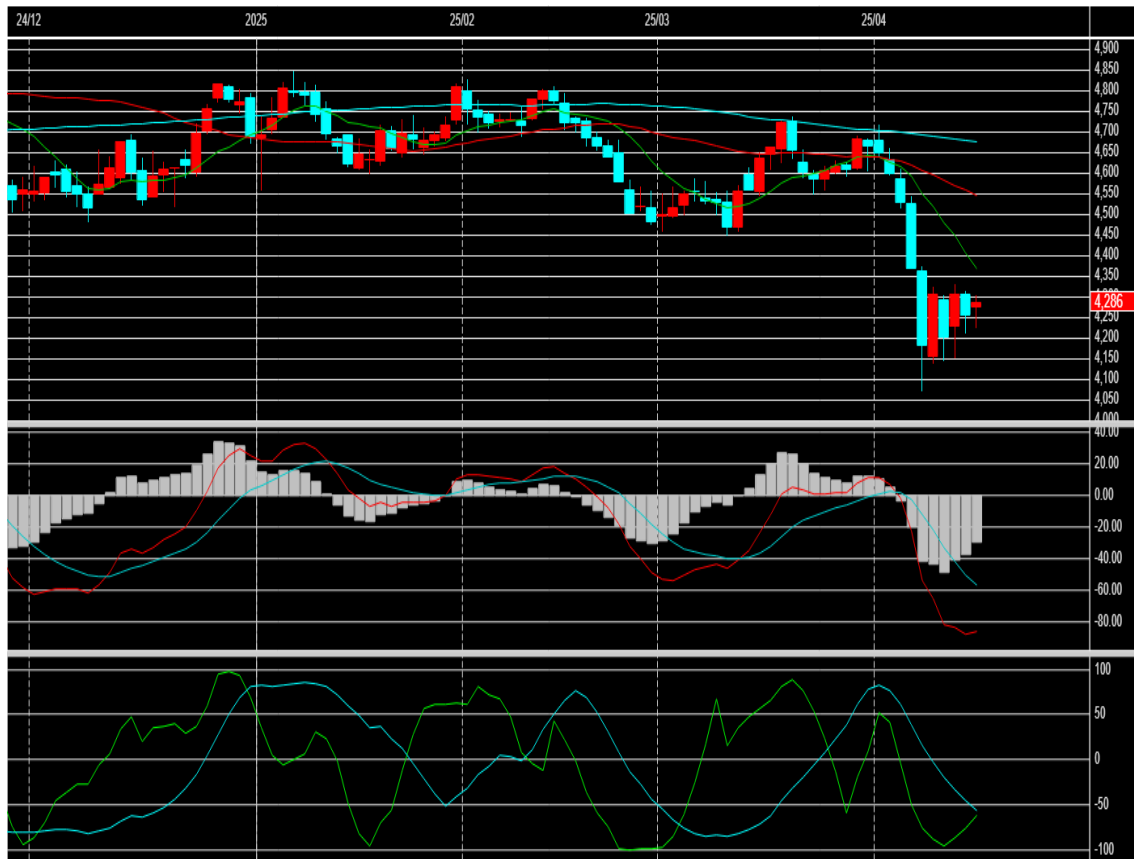


<白金標準、行き過ぎた織り込みの巻き戻しに期待・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領が発表した相互関税は、中国以外の国々は 90 日間の関税発動が延期されている。ただ中国に 145%を課し、中国も米国に対して 125%の関税を課すと発表するなど、世界 2 大経済大国が関税を受けて輸入品がストップする動きを強めている。特に米国の経済指標では、消費者物価指数（CPI）に生産者物価指数（PPI）がマイナスとなるなど、関税発動前はインフレが落ち着きを示していたが、週末のミシガン大消費者信頼感指数は 50.8 へ低下し、一方で一年先のインフレ期待が 1981 年以来の 6.7%へ上昇し、景気後退とインフレが存在するスタグフレーションが高まっている。特に景気商品である白金価格において上値を抑える要因となる事から戻りが抑えられている。ただ週末にはコリンズ・ポストン連銀総裁が「FRB は市場の機能や流動性に関する懸念が生じた場合、必要に応じて対処する用意はある」と述べるなど市場は「FRB プット」の様相を見せており、今週 16 日に行われるパウエル FRB 議長の講演でリスク緩和に繋がる発言があれば、「FRB プット」の巻き戻しの動きを強めて来ると思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が下げ止まり、**シグナル** も下げている。また RCI では**短期**が上昇し、**長期**も下げている。特に日足はペナントレンジを形成しており、離脱（上昇）の動きに注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引1,050,000円(2025年4月14日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約10倍から70倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚あたり往復68,640円(2025年4月14日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話03-5540-8423(受付時間:平日8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>